

## 山梨県（富士山）における活動報告

火山防災エキスパート	田鍋 敏也氏（北海道壮警町長）
申請団体	山梨県
活動日	令和6年7月17日（水）
活動場所	山梨県富士山科学研究所
活動した取組名	富士山火山防災対策協議会第2回山梨県コアグループ会議
参加者	富士山火山防災対策協議会山梨県コアグループ会議 構成機関 45名
活動の目的	過去の噴火災害における広域避難や観光客への対応事例、それらの対策についての講話や助言を行うことで、富士山の火山防災対策に資することを目的とする。
活動の概要	協議会山梨県コアグループ構成機関が今回の支援対象であることを踏まえ、壮警町が行っている火山防災の取組について講話した。

### 【申請団体の状況】

- 山梨県では、令和3年3月に改定された火山ハザードマップを基に、火山災害警戒地域に新たに追加指定された市町村があり、意識啓発が必要となっている。また、令和5年3月に策定された「富士山火山避難基本計画」において広域避難や観光客等への対応が盛り込まれた。
- 富士山は1707年の宝永噴火以降噴火しておらず、噴火の発生頻度が不規則な上、観測機器を用いた噴火時の観測データが存在せず、噴火の予測が一層困難である。また、火口の出現位置が噴火直前までわからないという特性上、不確実性を踏まえた防災対応が必要となる。さらに、居住地域への影響や広域避難、国内外から訪れる多くの観光客への対応など、様々な観点から対策を検討していく必要がある。

### 【講話の内容】

- 2000年噴火以前から平時の取組として、北海道市民大学講座、子ども郷土史講座、防災マップの作成、防災講演会等で火山防災の啓発を実施している。
- 2000年噴火時の災害応急対応のポイントとして、専門家からの職員への直接連絡、火山活動の現況報告会、一時帰宅等を行ったことがあげられる。
- 復旧・復興の取組として、観光客の安全確保に関する指針、復興計画の作成、防災マップによる土地利用を行ったほか、エコミュージ



アム構想・ジオパークの取組を行った。

- 火山との共生や次の噴火に備え、意識啓発のための防災キャンプ、火山専門家等を確保するための専門家等の防災学識アドバイザーへの委嘱等を行っている。

【質疑応答】

- 2000年噴火において、住宅等建物への被害は、どのような火山現象によるものか。

- 噴石と地殻変動による被害が多かった。火砕流による被害はなく火山泥流も小規模なものは発生したが、被害はない。

- 降灰の影響はあったか。

- 2000年噴火の際は、農作物の作付け前であり、被害はなかった。1977年の噴火では、農作物への降灰被害が発生した。

- 2000年噴火は、広域避難が行われたのか。

- 町民の9割が避難した旧虻田町は、隣町の豊浦町だけでは収容できず、振興局の枠を超えて長万部町に避難した。そのため、広域避難に該当する。ただ、壮瞥町は避難対象が約400名、自主避難者が600名ほどであり一部を除いて町内の避難所に収容できた。

- エコミュージアム構想は、復興を進める中で出てきた考えか。

- 1999年に壮瞥町まちづくり総合計画で、位置付けたもので、復興策として広域で推進することとしたもの。
- また、次の噴火に備え、有珠山周辺の市町は、事前復興の考えをまちづくり計画に取り入れている。こういった事前の復興への取組は重要だと考えている。

**緊急対応に役立った平時の教育活動**  
(1977年噴火以降)

**1983年～継続(毎年開催) 子ども郷土史講座**

主催: 壮瞥町教育委員会  
対象: 小学校3-6年生  
講座開設回数: 4回/年  
火山関係協力者:  
北海道大学 岡田弘 名誉教授  
三松正夫記念館長 三松三朗氏



ねらい

- ・フィールドで体験的な学びを通し、2011.6.25 第2回講座 有珠山学習会 講師 岡田弘氏 自然がもたらす恵みと地球の活動(災害)に関する知識を楽しく習得
- ・発災時に的確に判断し、主体的に行動する態度を育成

昭和和山、有珠山体験学習会を毎年実施。受講者はのべ1900名余

**災害応急対応** 前兆地震から噴火まで

3月27日(月) 火山性地震を管区気象台及び北大有珠火山観測所で観測  
23:30 UVO, 岡田教授, 壮瞥町職員へ電話  
23:50 職員が到着。震源など情報収集

3月28日(火)  
8:30 壮瞥町 対策本部設置

16:30 3地区に自主避難(避難準備)の呼びかけ。(壮瞥町)

3月29日(水)  
11:10 緊急火山情報 第1号 発表(室蘭地方気象台)

13:00 洞爺湖温泉など3地区408名に**避難勧告発令**(壮瞥町)  
18:30 **避難指示に切り替え**(3市町)

3月30日(木) 対象 10,545人 避難完了(3市町)

3月31日(金) 13:06 西山西麓から噴火。

職員が常駐  
役場へ連絡

**災害応急対応**



3月31日13:26 伊達市役所にて北大 岡田弘教授撮影

3月31日13:06 噴火

3月30日(木) 避難対象住民 10,545 人避難完了

洞爺湖有珠山ジオパーク  
Toya - Usu UNESCO Global Geopark



洞爺湖ビジターセンター  
有珠山  
1977年火山遺構公園  
そうべつ情報館  
エコミュージアムセンター  
新山岳 展望公園  
新橋道標公園  
2000年西山山麓火口  
フットパス  
外輪山遊歩道

【活動の様子】



【現地視察の様子】

- 山梨県火山対策室と富士山科学研究所の案内で、富士山五合目周辺の視察を行った。



県職員による富士吉田登山道の説明



令和6年度から設置された五合目の登山道入りロゲート



御庭入口からお中道「御庭」に向かう登山道



富士山科学研究所の火山専門家による御庭・奥庭第2火口列の説明